

汚染水対策スケジュール (1/2)

分野	括り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	12月							1月							2月	3月	備考
			24	1	8	15	22	29	5	12	19	下	上	中	下				
汚染水対策分野	中長期課題	建屋滞留水処理	【1、2号機 滞留水移送装置設置】 【3、4号機 滞留水移送装置設置】 (実績) ・穿孔・地下陥干渉物撤去 ・架台・配管・ポンプ設置	【1、2号機】滞留水移送装置設置														2019年6月13日 実施計画変更申請	
		【1~4号機 滞留水移送装置設置】 (実績) ・穿孔・地下陥干渉物撤去 ・架台・配管・ポンプ設置	【3、4号機】滞留水移送装置設置														2019年6月13日 実施計画変更申請		
	建屋滞留水浄化	【1~4号機建屋滞留水浄化設備】 (実績) ・【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中	【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中																
	浄化設備	現場作業	【既設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (A・B系統) (B系統応急復旧による運転11/5~12月上旬) ・処理停止 (C系統) (予定) ・吸着塔不具合のため処理停止 (A系11/26~12/23) ・循環ポンプ不具合のため処理停止 (B系統7/2~11月上旬、12月上旬~2月上旬) ・定期点検のため処理停止 (A系統 1月中旬~3月中旬、B系統 12/2~2月上旬、C系統 11/8~12/11)	A系 吸着塔不具合のため処理停止														処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止	
			A系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																
			定期点検のため処理停止																
		現場作業	【高性能多核種除去設備】 (実績・予定) ・処理運転	処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止	
			【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (A・B・C系統) (予定) ・定期点検のため処理停止 (A系統 12/2~12/24、B系統 11/19~12/12、C系統 10/15~11/21、12/2~12/14)	A系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														※処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 ※9/14に使用前検査 (除去性能確認) を受検。使用前検査終了証を受領した2017年10月16日よりホット試験から本格運転へ移行 (運転状態・除去性能はホット試験中と変わらず) 2017年10月12日付 増設多核種除去設備使用前検査終了証受領 (原規規発第1710127号)	
			B系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																
	C系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																		
現場作業	【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転														サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~)			
	【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧方針検討 (予定) サブドレン設備復旧方針検討	サブドレン設備復旧方針検討																	
	【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転														2017年7月28日 除染装置関連設備撤去の実施計画変更認可 (原規規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実施計画変更認可 (原規規発第1709285号) 第三セシウム吸着装置設置コールド試験完了 (H30.7月) 2019年1月28日 第三セシウム吸着装置使用前検査終了証受領 (原規規発第1901286号) 2019年7月12日運用開始			
現場作業	陸側遮水壁	(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	維持管理運転 (北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)														2016年3月30日 陸側遮水壁の閉合について実施計画変更認可 (原規規発第1603303号) 2016年12月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (原規規発第1612024号) 2017年3月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所4箇所の閉合:原規規発第1703023号) 2017年8月15日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所1箇所の閉合:原規規発第1708151号)		
		【H4エリアNo.5タンクからの漏えい対策】 (実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	モニタリング																

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	括り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	12月							1月							2月	3月	備考
			24	1	8	15	22	29	5	12	19	下	上	中	下	前	後		
中長期課題 汚染水対策分野	処理水受タンク増設	(実績・予定) ・追加設置検討(タンク配置) ・H4フランジタンクリブレース工事(堰構築) ・Bフランジタンクリブレース工事(タンク基礎新設、堰構築) ・H5フランジタンクリブレース工事(タンク基礎新設、堰構築) ・H6フランジタンクリブレース工事(地盤改良、タンク基礎新設、堰構築) ・H3フランジタンクリブレース工事(タンク設置作業待ち) ・H5エリアタンク設置 ・H6(Ⅱ)エリアタンク設置 ・G6フランジタンクリブレース工事 ・G6エリアタンク設置 ・G4南フランジタンクリブレース工事(タンク解体) ・Eフランジタンクリブレース工事(タンク解体準備) ・G1横置きタンクリブレース工事(タンク基礎新設) ・G1エリアタンク設置	設計検討	[黒い横線]															
			現場作業	H4フランジタンクリブレース工事(堰構築)														2015年12月14日 H4エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1512148号)	
			現場作業	Bフランジタンクリブレース工事(タンク基礎構築、堰構築)														2016年12月8日 Bエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号)	
			現場作業	H5フランジタンクリブレース工事(タンク基礎構築、堰構築)														2016年12月8日 H5エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号)	
			現場作業	H6フランジタンクリブレース工事(基礎構築、堰構築)														2018年2月14日 H5北エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第18021415号)	
			現場作業	H3フランジタンクリブレース工事(堰構築)														2016年12月8日 H6エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号)	
			現場作業	H5エリアタンク設置														2018年5月31日 H5エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1805317号) H5エリア 1,200m ³ (32基) ・H5使用前検査済み(32/32基)	
			現場作業	H6(Ⅱ)エリアタンク設置														2018年8月23日 H3、H6(Ⅱ)エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1808234号) H6(Ⅱ) 1,356m ³ (24基) ・H6(Ⅱ)使用前検査済み(24/24基)	
			現場作業	G6フランジタンクリブレース(タンク基礎・堰構築)														2017年10月30日 実施計画変更認可	
			現場作業	G6エリアタンク設置														*最終検査(調整中) 2019年2月25日 G6エリアタンク設置について実施計画認可 G6エリア 1,330m ³ (38基) G6使用前検査済み(38/38基)	
			現場作業	G4南フランジタンクリブレース工事(タンク解体)														2018年7月5日 G4南エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1807053号)	
			現場作業	Eフランジタンクリブレース工事(タンク解体準備)														2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1809102号)	
			現場作業	G1横置きタンクリブレース工事(地盤改良、タンク基礎新設)														2017年10月17日 G1エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1710171号)	
			現場作業	G1エリアタンク設置 ▽(2,712m ³)(2基) ▽(4,068m ³)(3基) ▽(5,424m ³)(4基) ▽(4,068m ³)(3基)														2019年8月2日 G1、G4南エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1908024号) G1エリア 1,356m ³ (66基) G1使用前検査済み(66/66基)	
			2.5m盤の地下水移送	現場作業	(予定・実績) ・地下水移送(1-2号取水口間) (2-3号取水口間)(3-4号取水口間) (実績) <3号機T/B屋根> ・11/19 ヤード整備開始	1、2号機海側ヤードエリア(路盤舗装等) 1~4号機周辺フェーシング													
3号機タービン建屋屋根対策 ヤード整備工事														3号T/B屋根対策ヤード整備:2018年11月~2019年7月					
津波対策	現場作業	○千島海溝津波対策 ・防潮堤設置 (実績・予定) 既設設備撤去・移設、造成嵩上げ、L型擁壁設置	防潮堤設置														工事開始(2019年7月29日) L型擁壁の据え付け開始(2019年9月23日) 防潮堤設置2020年度上期完了予定		
			【区分③】2、3R/B外部のハッチ等														【区分1②】1~3T/B等2019年3月、全67箇所完了 【区分3】2、3R/B外部のハッチ等 (2019年3月~2020年9月、9箇所/20箇所完了) 【区分4】1~3R/B扉等 (2019年9月~2020年12月、1箇所/14箇所完了) 【区分⑤】1~4Rw/B、4R/B、4T/B (2020年~2022年3月)		
			【区分4】1~3R/B扉等																
現場作業	○3.11津波対策 ・建屋開口部閉止 (実績) 閉止箇所数 77箇所/122箇所(12月13日時点) (予定) 外部開口閉塞作業 継続実施	着底マウンド造成														着底マウンド造成開始(2019年5月20日) パラスト水処理開始(2019年5月28日) 内部除染開始(2019年7月16日)			
		パラスト水処理・内部除染																	
現場作業	○3.11津波対策 ・メガフロート移設 (実績) 着底マウンド造成約90%、パラスト水処理約70% 内部除染作業約70%(12月13日時点) (予定) 着底マウンド造成・パラスト水処理・内部除染 継続実施 メガフロート着底作業	メガフロート着底														※2月下旬より準備作業開始。3月より着底作業開始予定			

多核種除去設備

	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1/1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A																					停止
B	停止																				
C											停止										

増設多核種除去設備

	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1/1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A						停止															
B					停止																
C																					

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1/1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
SARRY												停止									
SARRY2	停止																				
KURION	停止(滞留水の状況に応じて運転を計画, 実施)																				

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について
(2019年12月27日～2020年1月9日)

2020年1月10日
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位					タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位		
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			ポンプエリア	南東エリア												
12月27日	-1440	-809	-1497	-2079	-1771	—	-1102	-1200	-1479 以下	—	-1341	-1289	-1429	1357	464	—
12月28日	-1451	-801	-1440	-2137	-1771	—	-1077	-1197	-1479 以下	—	-1336	-1286	-1435	1280	465	—
12月29日	-1444	-816	-1422	-2228	-1772	—	-1187	-1192	-1479 以下	—	-1336	-1285	-1439	1225	465	—
12月30日	-1447	-836	-1440	-2228	-1771	—	-1160	-1188	-1479 以下	—	-1336	-1285	-1444	1122	464	—
12月31日	-1451	-822	-1448	-2054	-1821	—	-1176	-1183	-1479 以下	—	-1335	-1284	-1447	1043	465	—
1月1日	-1441	-811	-1445	-2131	-1816	—	-1141	-1232	-1479 以下	—	-1334	-1284	-1448	986	465	—
1月2日	-1451	-797	-1459	-2256	-1805	—	-1118	-1224	-1479 以下	—	-1334	-1282	-1451	885	465	—
1月3日	-1449	-795	-1478	-2033	-1801	—	-1100	-1220	-1479 以下	—	-1334	-1282	-1451	783	464	—
1月4日	-1446	-781	-1466	-2159	-1801	—	-1216	-1255	-1479 以下	—	-1332	-1282	-1453	768	464	—
1月5日	-1461	-785	-1482	-2299	-1801	—	-1196	-1249	-1479 以下	—	-1332	-1282	-1454	673	465	—
1月6日	-1444	-790	-1366	-2068	-1801	—	-1167	-1249	-1479 以下	—	-1332	-1281	-1455	539	464	—
1月7日	-1446	-869	-1375	-2126	-1801	—	-1142	-1243	-1479 以下	—	-1331	-1281	-1457	511	473	—
1月8日	-1449	-937	-1419	-2173	-1801	—	-1126	-1300	-1479 以下	—	-1329	-1279	-1457	579	472	—
1月9日	-1441	-909	-1377	-2196	-1800	—	-1117	-1245	-1479 以下	—	-1306	-1262	-1457	575	472	—
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	—

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水除去完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋は水位計の測定下限値以下まで水位低下(2018年7月)
- ※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日～)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機タービン建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2019年12月27日～)

実施計画記載期限に関わる進捗状況について

2020年 1月10日

東京電力ホールディングス株式会社

雨水処理設備等の先行運用について

■ 雨水処理設備等の先行運用について

- 現在、雨水処理設備等の一部は先行運用中であり、本設備の設置完了目途については、実施計画【2019年12月13日認可版】にて、以下のように変更を予定している。

設備		設置完了目途
雨水移送ライン	実施計画の変更認可 (2018年5月) 範囲	設置完了
	実施計画の変更認可 (2018年5月) から 設計変更または新設する範囲	2019年度中 タンクエリア設置完了後1年以内目途
雨水RO濃縮水移送ライン		2020年度中※1

※1 淡水化处理RO膜装置雨水受入タンクから雨水RO濃縮水受入タンクまでの雨水RO濃縮水移送ラインについては、配管布設距離が非常に長く、新設タンクエリア設置等の多くの工事と干渉するので、設置時期が2020年度中となる。また、先行運用範囲外のモバイルRO膜装置雨水受入タンクから雨水RO濃縮水受入タンクまでの雨水RO濃縮水移送ラインの設置時期は、2018年度に設置完了している。

雨水処理設備等の先行運用について

項目		2018年度		2019年度		2020年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
雨水移送ライン	実施計画の変更認可（2018年5月）範囲 （2018年度設置完了）	設置完了済 【D, H1, K1北, K1南, K2, G3東, G3西 (G7), G5, J8, J9, H1東, H2, K3, K4, B南, G4北】					
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲 （2019年度中設備設置予定）			タンク設置完了後に順次設置予定 【H3, H4北, H4南, H6 (I), G1南, G3北】 （2019年度中設備を設置）			
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲 （タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定）			タンク設置完了後に順次設置予定 【B, G6, H5, H6 (II), 等】 （タンクエリアの設置完了後1年以内目途に設備を設置）			
雨水RO濃縮水移送ライン		淡水化RO濃縮水移送ライン 現場調査・現場設置、検査、試運転					

雨水処理設備等の先行運用について

本設設備設置時期（予定）

▼：タンク設置完了時期（予定）

□：計画

■：実績

ケース①	設置時期※	タンク設置完了時期（予定）	対象エリア		2019年度		2020年度	
			タンク堰	雨水回収タンク	上期	下期	上期	下期
タンクリプレース工事に伴う新設の汚染水タンク運用開始と同時に堰内雨水を処理する必要があり、PE管敷設が完了するまで先行運用が必要。	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲のうち、2019年度中設備設置予定	2019.9	H6(I)	H6(I)		▼		
		2019.6	H4北	H6(I)	▼			
		2019.8	H4南	H6(I)	▼			
		2019.8	H3	H1-1	▼			
		2019.4	G1南	G3西-D7	▼			
		-	G3北	G3西-D7		G4北解体に伴うリルート		
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲のうち、タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定	2019.10	H5	H6(I)		▼		
		2020.4	H6(II)	H6(I)			▼	
		2019.10	B	B		▼		
		2019.11	G6	B		▼		

既設ROに係る設備の改造スケジュール

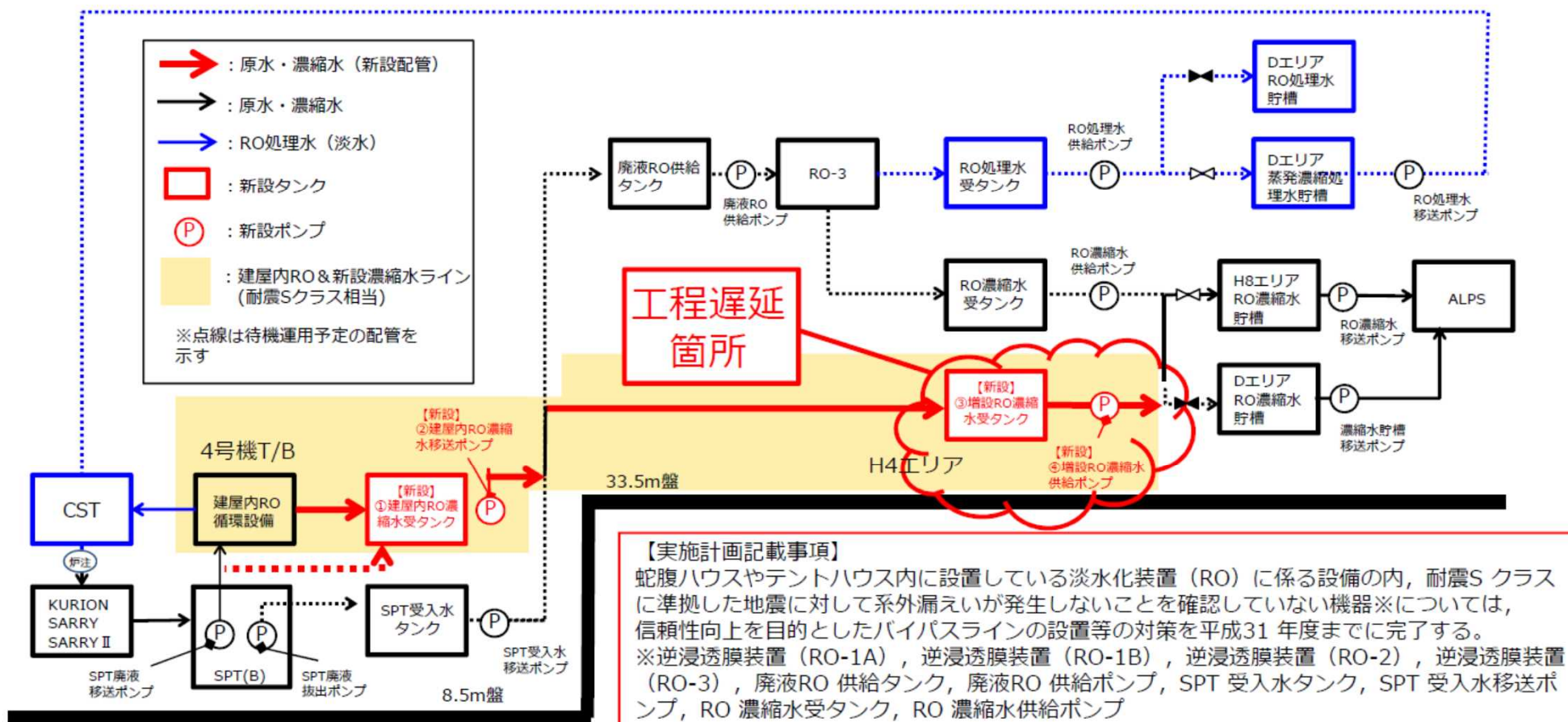
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
【2018年度 工事】 廃液RO供給タンク SPT受入水タンク RO濃縮水受タンク 樹脂ライニング	仕様確定、施工要領確定			
【2019年度 工事】 RO-3 樹脂ライニング		2018年度分完了	ライニング工事	
タンク新設 バイパスライン工事	最適化検討 (※)	仕様確定	実施計画変更 バイパスライン設置 タンク設置 ポンプ設置 使用前検査	

※最適化検討

- Cエリア(既設RO/蒸発濃縮装置廻り), SPT廻りは, 震災直後に設置した機器が輻輳しており, 新たな機器を設置するスペースがない状態
- 震災直後に設置した機器の更新等のためには, 撤去範囲, 工事の順番等の最適化検討が必要

1. 信頼性向上工事について

- 現在、実施計画に記載の通り、信頼性向上を目的としたバイパスラインの設置等の対策を実施中であるが、下記理由により工事が**2ヶ月程度**遅れる見込みである。
 - タンク基礎付近に埋設配管がある事を確認。タンク基礎位置の見直しが発生。
 - 10月の台風とその後の大雨により掘削作業のやり直しが発生。
 - 電源盤の納期変更。



■ 現状 (2020年1月10日 時点) の対策状況 <STOP：遮水特殊ポリマー保温>

S r 処理水を内包した配管フランジ部：879 [箇所]				備考(前回報告時)
運用中	634箇所	堰内	195	195
		STOP施工済 (堰外)	349	280
		STOP未施工 (堰外)	90	159
運用終了	245箇所	水抜き済	231	223
		水抜き未	14	22

※高性能ALPS移送配管 水抜き完了 (31/31箇所)

上記移送配管のSTOP施工済の箇所数：15/19箇所

排水路付近の濡れ感知器設置済の箇所数：11/11 箇所 設置完了

ALPS 処理水を内包した配管フランジ部：986 [箇所]				備考(前回報告時)
運用中	343箇所	コーキング済	307	227
		コーキング未	36	116
運用終了	643箇所	水抜き済	95	89
		水抜き未	548	554

1. 止水対策進捗状況 (2/2)

■ 現状 (2020年1月10日 時点) の対策状況

- RO処理水内包配管フランジ部を反映
- コーキング処理全箇所完了

RO処理水を内包した配管フランジ部 : 174 [箇所]				備考	
運用中	174箇所	コーキング済		64	
		コーキング未	堰内	38	
		水抜き未	H9	72	アウトサービス待ち

2. 止水対策進捗スケジュール (1/3)

■ 2019年度対策対応実績

➤ Sr 処理水類内包配管漏えい防止対策（水抜き他）工程



■ Cエリアタンク受払配管撤去

➤ 受払配管 100/100% 撤去完了

2. 止水対策進捗スケジュール (2/3)

■ 2019年度対策対応実績

➤ ALPS処理水内包配管漏えい防止対策（水抜き他）工程



- ※1 当初予定していた水抜き方法（広範囲を水抜き）では，配管フランジ部等に過度な応力が加わり，破損のおそれがあったため一定区間ごとに水抜きをする方法に見直したため，完了予定月を延期
- ※2 10月の台風や大雨の影響により，フランジ部コーキング処理完了予定月を延期

■ ALPS処理水内包枝管水抜き

- 水抜き完了箇所数 **95/643箇所**

2. 止水対策進捗スケジュール (3/3)

■ 2019年度対策対応実績

➤ RO処理水類内包配管漏えい防止対策（水抜き他）工程

	2019	2020年											
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
H9エリア水抜き		▼現在				▼10-4月より水抜き開始, 2020年3-9月下旬迄に完了予定							

➤ ※H9エリア解体の工程干渉により、H9エリア配管水抜き完了予定月を延期

1～3号機 R / B 三角コーナーの連通性確認について

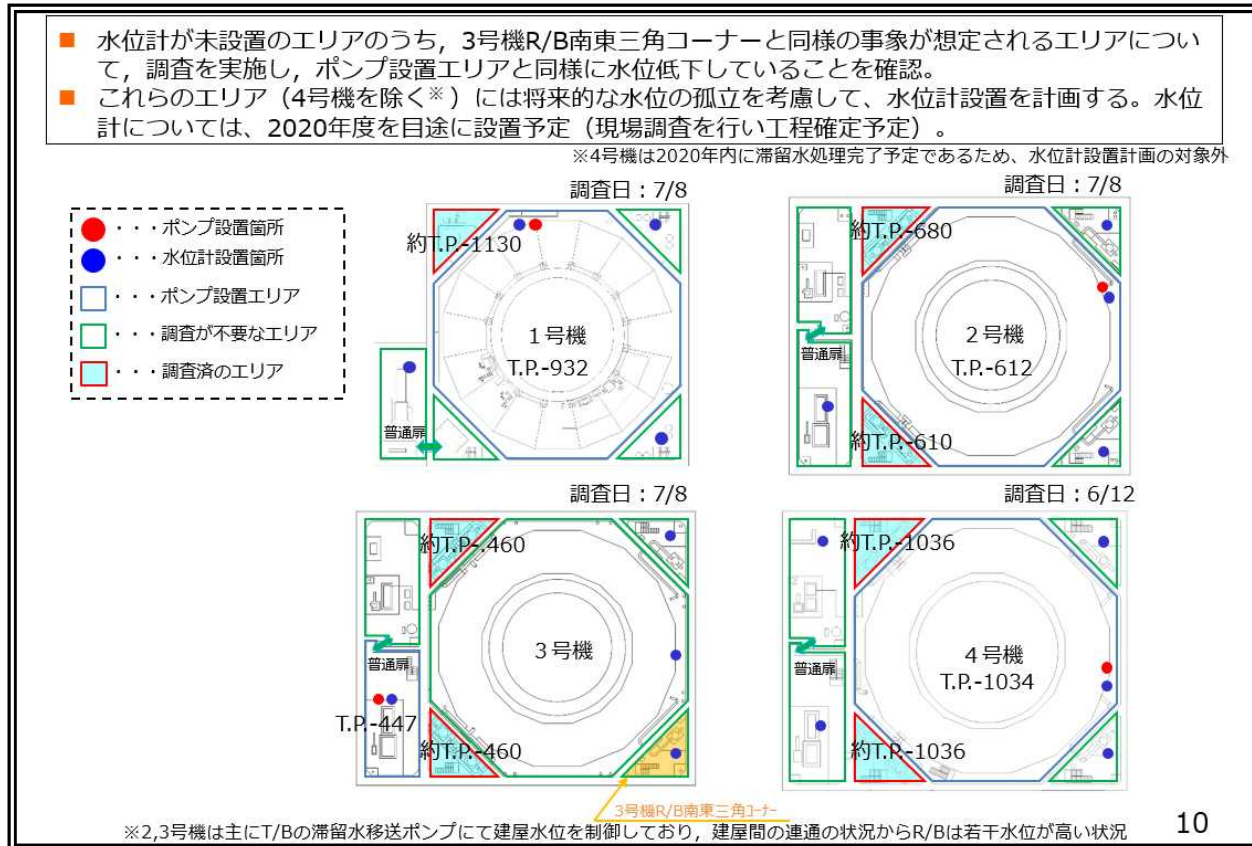
2020年1月10日



東京電力ホールディングス株式会社

1. 1～3号機R/B三角コーナー連通性確認

- 連通性のあるエリアの水位は、連通先に設置されている代表水位計の測定を以て水位評価している。
- 今後、建屋水位を下げて行くにあたって、3号機R/B南東三角コーナーと同様に他三角コーナーも連通が緩慢となる可能性を否定できないため、今後は水位低下の都度、各三角コーナーと代表水位計設置箇所との連通性を確認する。
 - 1～3号機R/B三角コーナーの水位計がないエリア（下記、調査済みのエリア5箇所）については、高線量環境下であり手計による連通性確認が非現実的であるため、2019年12月に仮設水位計設置完了
 - 連通が緩慢となっていることが確認された場合には、仮設ポンプによる排水を計画する
 - 仮設水位計については、2020年度を目途にリプレースを計画していくが、本水位計は連通状況の確認を主目的とし設置するものであるため、実施計画は変更予定なし



2019/7/22
第73回特定原子力施設
監視・評価検討会
再掲

4号機R/B水位低下時の一時的な流入量増加について

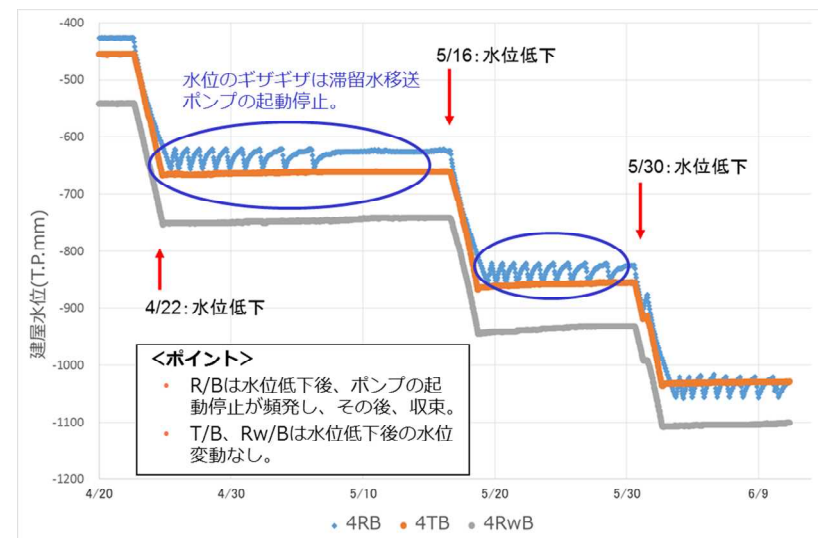
2019/1/10

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 4号機の建屋水位低下時の水位挙動と流入要因

- 4号機の建屋水位挙動より、水位低下直後にR/B滞留水移送ポンプの起動停止が頻発して発生し、時間の経過と共にポンプ起動頻度が収まる傾向を確認。
 - 建屋滞留水水位の低下後、実事象として、R/Bのみ一時的に建屋流入量が増大
- R/Bの水位低下に伴い、系統水（おそらくS/C）から実際に流出が発生していると推定。ただし、流入事象が収まるまで時間遅れがあることから、R/BとS/Cの連通性は良くないものと推定。
 - ✓ S/C内水位の連続的な測定は実施していないものの、震災初期および昨今において、滞留水水位と同程度であることを確認
 - ✓ それぞれの水質についても同程度の濃度であることを確認



4号機R/Bの水位トレンド

4号機S/C内水位とR/B滞留水水位

測定日	S/C内水位		R/B滞留水水位	
	北側マンホール	南東側マンホール	トラス室	北東三角コーナー
2019/8/29	T.P.-1546	T.P.-1546	T.P.-1423	T.P.-1521
2019/6/19	T.P.-1206	T.P.-1266	T.P.-1238	T.P.-1340
2011/4/30	T.P.1614 ※ 測定箇所不明		T.P.1694	T.P.1764

4号機S/C内水質とR/B滞留水水質

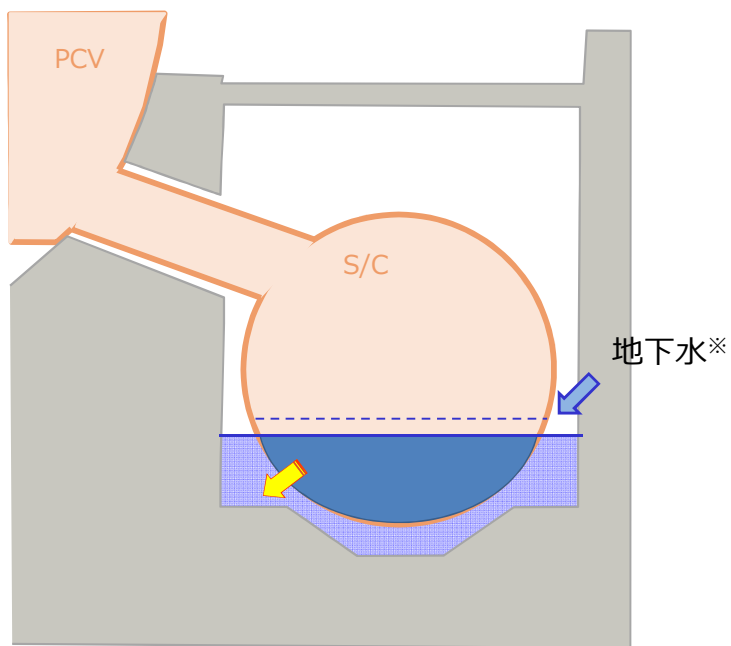
採水日	分析項目	S/C内水質		R/B滞留水水質
		北側マンホール	南東側マンホール	トラス室
2019/8/29	Cs-137 [Bq/L]	3.6*10 ⁵	4.0*10 ⁵	3.6*10 ⁵
	Sr-90 [Bq/L]	6.9*10 ⁴	3.7*10 ⁴	5.9*10 ⁴
	H-3 [Bq/L]	4.0*10 ⁴	3.9*10 ⁴	3.1*10 ⁴



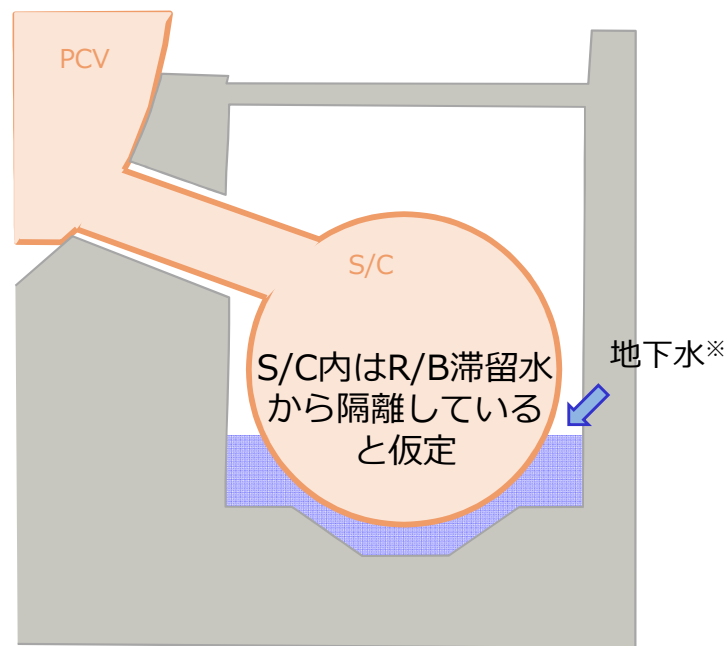
4号機R/Bの水位測定箇所

2. 当該事象の扱いについて

- これまで、S/CはR/B滞留水から隔離していることを前提に評価しており、現状の評価モデルでは、S/Cから建屋へ流出した分は「地下水流入量」の一部として評価されている。
- S/Cから建屋へ流出した分の扱いについては、検討中。



4号機R/Bトールラス室断面図
R/B滞留水低下後、S/C内包水がR/Bへ流出



【参考】現状の評価モデル
S/C容積を除外したR/B容積の
変動分等から地下水流入を評価

⇒ S/Cからの流出分は地下水
流入量の一部として評価

【参考】今後の予定

- 4号機R/Bは他号機より先行して水位低下を進めており、2020年中の床面露出を計画している。
- 4号機S/Cについて、RHR系配管のドレン弁を通じて建屋滞留水が連通していると想定されており、4号機R/Bの床面露出後、S/C内残水が160m³程度残る見通し。
- S/C内残水については、4号機R/Bの滞留水移送装置の追設後の水位低下により孤立する見通し。孤立していることを確認した後に移送を計画する（移送方法については現在検討中）。

S/C内包水の貯留状況 および 孤立高さ (想定)

